いちのみやの社会福祉

2009
10月号 No.14
発行　社会福祉法人　一宮市社会福祉協議会
福祉のまちづくり

障害者スポーツ大会（玉入れ）

もくじ

・平成20年度　事業報告…… 2
・平成20年度　決算報告…… 3
・平成21年度　会員加入状況･善意のご寄付…4
・赤い羽根共同募金にご協力を…… 5
・地域福祉サービスセンター事業から…… 6
・ボランティア養成講座
　家族介護者リフレッシュ事業等のご案内… 7
・第21回福祉とボランティア活動展 …… 8・9
・ボランティア体験学習事業報告…… 10
・催しもの案内…… 11
・ケアマネジャーだより…… 12
・災害ボランティア支援本部…… 13
・編集ボランティアのページ……14・15
・社会福祉協議会の事業から…… 16

平成20年度 主な事業報告

ふれあいのまちづくり推進事業

○会員会費等を財源として、支会組織の充実強化並びに地域福祉事業を推進しました。

ボランティアセンター活動事業

○地域住民の社会奉仕に関する理解と関心を深め、ボランティア活動の育成援助と必要な連絡調整を密にし、社会福祉の増進を図るため、ボランティアセンター事業を推進しました。

・登録者数　297グループ（11,853名）　個人 285名

・市民啓発事業として、福祉フェスティバル「みんなと一緒に”福祉とボランティア活動展”」を開催しました。延べ5,500名参加。

共同募金配分金事業

○老人福祉活動事業	100歳以上の高齢者へ長寿祝いを贈り、敬老の日等行事に協力し、助成をしました。
○障害児・者福祉活動事業	各障害児・者団体の行事等に協力し、助成をしました。
○児童・青少年福祉活動事業	福祉実践教室の開催、児童・青少年福祉活動に協力し、助成をしました。
○母子・父子福祉活動事業	母子育成事業等に協力し、助成をしました。
○福祉育成・援助活動事業	低所得者階層への援助及び広報紙を発行し、市民福祉啓発に努めました。
○ボランティア活動育成事業	ボランティアの地区活動推進及び登録ボランティアグループに助成をしました。
○歳末たすけあい配分金事業	ひとり暮らし老人へ慰問を行い激励しました。

居宅介護等事業

○訪問介護員が介護保険法及び障害者自立支援法に基づく、居宅介護サービスの提供及び一宮市から受託した介護等事業を実施しました。

・サービス提供回数（延べ回数）

指定訪問介護事業(介護保険事業)	70,439回
指定居宅介護事業(障害福祉サービス事業)	18,419回
移動支援事業	1,234回
難病ホームヘルパー派遣等事業	163回
軽度生活支援事業	4,770回
育児支援家庭訪問事業	6回

居宅介護支援事業

○介護支援専門員が介護保険法に基づく適正な居宅介護支援を行いました。

・支援件数（延べ件数）

ケアプラン作成	4,667件
介護予防ケアプラン作成	1,165件
介護認定調査	497件

福祉サービス利用援助事業

○自らの判断で適切な福祉サービスを受けることが困難な認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等が地域で自立した生活が送れるように福祉サービスの利用援助を行いました。

地域福祉サービスセンター事業

○在宅の要援護者及びその家族等を対象に、福祉に関する相談に応じ、適切な福祉サービスが提供されるよう総合的な連絡・調整を行い援助しました。

基金運営事業

○基金の趣意啓蒙を行い基金の造成に努め、その利息及び寄付金にて、歳末慰問援護事業を実施しました。

平成20年度 一宮市社会福祉協議会 一般会計決算報告

一宮市社会福祉協議会では、去る5月19日（火）に理事会、5月26日（火）に評議員会を開催し、平成20年度事業報告及び決算について認定、承認を受けました。

地域福祉の推進と在宅福祉サービスの充実を基本方針として実施することができました。ここに市民の皆様、関係各位のご協力を厚くお礼申し上げるとともに、決算報告をいたします。

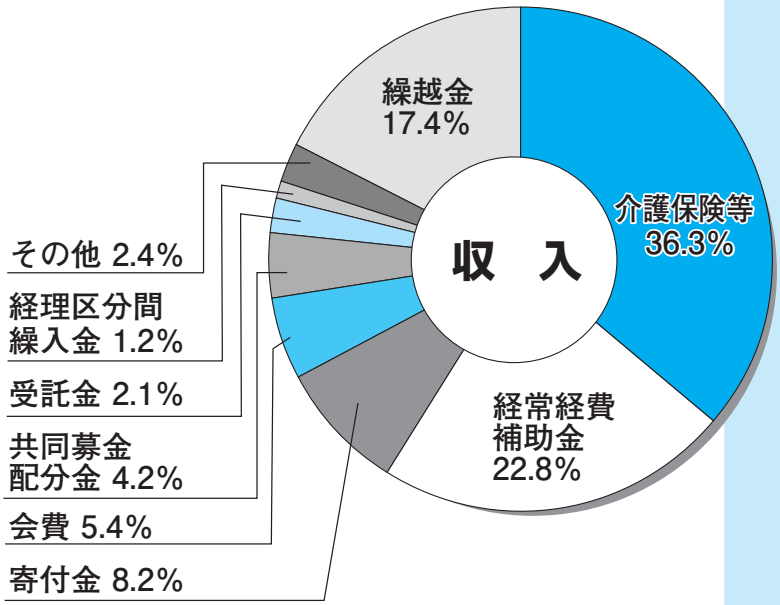
なお、詳細につきましては本部事務所で閲覧できます。

収入決算額　1,002,922,199円

収　入

（単位：円）

介護保険等	364,434,044
経常経費補助金	228,433,177
寄付金	81,976,395
会費	53,763,650
共同募金配分金	42,559,208
受託金	21,074,024
経理区分間繰入金	12,323,652
その他	24,326,327
繰越金	174,031,722
合計	1,002,922,199

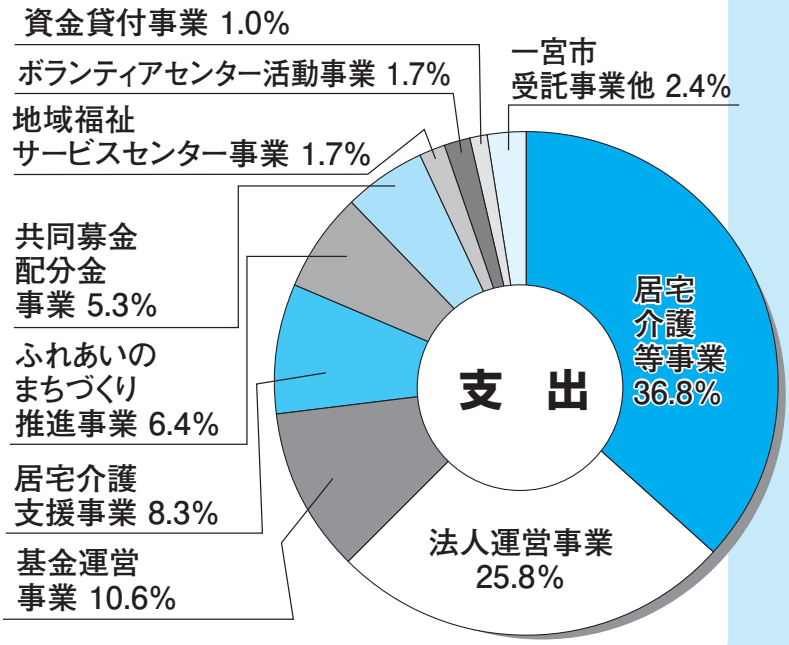


支出決算額　808,823,794円

支　出

（単位：円）

居宅介護等事業	298,495,248
法人運営事業	209,311,719
基金運営事業	85,360,576
居宅介護支援事業	66,921,894
ふれあいのまちづくり推進事業	51,605,750
共同募金配分金事業	43,058,566
地域福祉サービスセンター事業	13,500,228
ボランティアセンター活動事業	13,377,348
資金貸付事業	8,051,826
一宮市受託事業他	19,140,639
合計	808,823,794



平成21年度 一宮市社会福祉協議会会員加入状況

（平成21年8月10日現在）

社会福祉協議会会員にご加入いただきありがとうございます

今年度も社会福祉協議会への会員加入をお願いしましたところ、市民の皆様方に多数のご理解とご協力を得ることができました。ご加入くださった方々、また加入促進にご協力いただいた方々に心からお礼申し上げます。市民の皆様方から頂いた会費は、高齢者・障害者・子育て・母子父子・地域福祉など社会福祉事業推進のために活用させていただいております。

なお会員加入につきましては、平成22年3月31日まで受付けておりますので、未加入の方におかれましては、社会福祉協議会の諸事業にご理解いただき、ご加入くださいますようお願いいたします。

支会名	一般会員：1口 500円		法人会員：1口 1,000円		計	
	会員数	金額（円）	会員数	金額（円）	会員数	金額（円）
宮西	2,825	**1,725,400**	0	**0**	2,825	**1,725,400**
貴船	3,163	**1,581,500**	1	**50,000**	3,164	**1,631,500**
神山	2,814	**1,301,420**	63	**385,400**	2,877	**1,686,820**
大志	1,948	**974,000**	83	**657,000**	2,031	**1,631,000**
向山	2,553	**1,276,500**	43	**143,500**	2,596	**1,420,000**
富士	4,155	**2,077,500**	0	**0**	4,155	**2,077,500**
葉栗	4,743	**2,371,500**	0	**0**	4,743	**2,371,500**
西成	10,351	**5,175,800**	0	**0**	10,351	**5,175,800**
丹陽	8,810	**4,405,000**	0	**0**	8,810	**4,405,000**
浅井	6,027	**3,013,500**	0	**0**	6,027	**3,013,500**
北方	3,129	**1,564,500**	0	**0**	3,129	**1,564,500**
大和	9,001	**4,500,950**	0	**0**	9,001	**4,500,950**
今伊勢	6,861	**3,430,500**	0	**0**	6,861	**3,430,500**
奥	4,008	**2,004,000**	0	**0**	4,008	**2,004,000**
萩原	5,196	**2,598,200**	0	**0**	5,196	**2,598,200**
千秋	5,417	**2,708,500**	0	**0**	5,417	**2,708,500**
起	※ 1,063	※ **538,500**	0	**0**	1,063	**538,500**
小信中島	※ 2,951	※ **1,476,500**	0	**0**	2,951	**1,476,500**
三条	※ 3,438	※ **1,819,500**	0	**0**	3,438	**1,819,500**
大徳	※ 2,946	※ **1,465,250**	0	**0**	2,946	**1,465,250**
朝日	※ 3,815	※ **1,920,000**	0	**0**	3,815	**1,920,000**
開明	※ 2,237	※ **1,143,500**	0	**0**	2,237	**1,143,500**
木曽川町	6,209	**3,217,500**	34	**144,000**	6,243	**3,361,500**
計	103,660	**52,289,520**	224	**1,379,900**	103,884	**53,669,420**

表中の※は一般会員の中に法人分も含まれています。

善意のご寄付ありがとうございました

平成21年4月1日～7月31日

（敬称略・順不同）

エス・ビー建材（４回）	吉田二三子
尾西傷痍軍人会(２回)	ドンキホーテ一宮店
奥グラウンドゴルフクラブ	さわやかストレッチ
ふれあい	尾西クラブ
小島輝彦	ダイセーエクスプレスシステム
西山鯱クラブ	開明小学校１・２年生
日本競輪選手会愛知支部	匿名　２２ 件

合計　1,507,836円

赤い羽根共同募金にご協力を

10月1日～12月31日

平成21年度
一宮市共同募金委員会目標額 **45,570,000円**

共同募金　Q&A

Q1 共同募金で集まった寄付金はどういうところに使われるのですか？

民間の社会福祉団体や施設、ボランティア団体などに配分され、お年寄りや障害のある方、子どもたちのために役立てられます。

Q2 なぜ目標額を決めるのですか？

寄付は任意のもので強制ではありませんが、福祉団体や施設の要望に応じる計画募金である為、その目標を達成するために一世帯あたりの目安額を設けています。

○街頭募金の実施
・日　程　１０月１日（木）・４日(日)
・場　所　JR尾張一宮駅前、名鉄一宮駅前、ショッピングセンターなど

○赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール入選作品の展示
・日　程　10月17日（土）午後１時～4時
　　18日（日）午前10時～
　　午後３時30分
・場　所　一宮スポーツ文化センター　１階
（第21回　福祉とボランティア活動展会場）

今年も皆様のご協力をお願いします。

赤い羽根共同募金

一宮市共同募金委員会

「ふれあいの集い」を開催しています

－地域福祉サービスセンター事業から－

障害のある方、介護している方、一人暮らしの高齢者などで、普段外に出る機会の少ない方や閉じこもり気味の方などを対象に、連区の公民館などで年１回の割合で開催しています。参加費は200円（お土産がちょっとつきます）で２時間ほど、楽器演奏や踊り、マジックなどの演芸を楽しんだり、ふれあいと憩いのひとときを過ごしてもらおうというものです。現在、尾西の6地区、大和、萩原で開催しています。

この集いは社会福祉協議会が主催していますが、出演者やお世話をしていただく民生児童委員さんなど多数のボランティアさんの協力で運営しています。

フォークダンス（萩原）

邦楽・語り部（大和）

＜出演者の声＞
「私たちの出し物が、みなさんに喜んでもらえてとてもうれしいです。」

マジック

フラダンス（大徳）

手遊びゲーム

＜参加者の声＞
「楽しい会でした。気持ちも明るくなりました。
次も是非来たいですね。」

近くで開催するときは多くの方のご参加をお待ちしています。

＊「ふれあいの集い」についてのご相談・お問い合わせ先
尾西支部　ＴＥＬ ６３－４８００（担当：玉腰）

参加者を募集

障害者スポーツサポートボランティア養成講座

回	月　日	時　間	場　所	内　容
1	10月29日(木)	午後1時30分～4時	木曽川支部（高齢者生きがいセンター）	開講式「障害者福祉概論」
2	11月 5日(木)	午後1時30分～4時	木曽川体育館	「ボッチャ体験実習」
3	11月12日(木)	午後1時30分～4時	木曽川体育館	「カローリング体験実習」
4	11月19日(木)	午後1時30分～4時30分	木曽川支部（高齢者生きがいセンター）	「普通救命講習」～心肺蘇生法・AED・傷と止血・包帯など～
5	11月26日(木)	午後1時30分～4時	木曽川支部（高齢者生きがいセンター）	「障害者スポーツとボランティア活動について」閉講式

対　　象：市内在住・在勤で障害者スポーツに関心のある方
受　講　料：無料
定　　員：10名（先着順）ただし、全日程出席できる方を優先します
申　込　み：10月5日（月）午前9時から木曽川支部（TEL87-2000）へ

視覚障害者パソコン教室

内　　容	視覚障害者が、日常生活の上での情報取得及び発信を容易にするためのパソコン技術を学びます
日　　時	10月20日～12月15日（８回）毎週火曜日　午後1時～4時30分
場　　所	本部
対　象　者	市内在住の視覚障害者（先着6名）
受　講　料	1,000円

申　込　み：10月6日（火）午前9時から本部（TEL24-2940）へ

家族介護者リフレッシュ事業

回	月　日	時　間	場　所	内　容
1	11月 6日(金)	午前9時～午後4時	サンヒルズ三河湾（蒲郡市）	日帰りバスツアー

対　　象：市内在住の方で「介護保険法」において「要支援１・２、要介護１～５」と認定された方を在宅で介護されている方
参　加　費：500円
定　　員：20名（先着順）
申　込　み：10月8日（木）午前9時から本部（TEL24-2940）へ

里親ボランティアを募集!!

一宮市社会福祉協議会では、児童養護施設の入所児童が心身ともに穏やかに成長するための一環として、児童に一般家庭での生活体験をしてもらおうと「里親ボランティア事業」を実施しています。

この事業は、1週間程度里親さんとして施設の児童を預かっていただき、児童に家庭の温かさを体験してもらうものです。

実施期間は、5月のゴールデンウイーク、お盆、年末年始の年3回です。

ボランティアとしてご協力いただける方は、本部（TEL24－2940）までご連絡ください。

んなと一緒に
ティア活動展

入場無料

先着入場者
500人（両日とも）
粗品進呈!!

3　階

民生児童委員バザー
（18日（日）　のみ）

体験コーナー
●手話・点訳・朗読・車いす・高齢者擬似・障害者パソコンを体験しましょう。
※体験コーナーを2か所以上まわられた方は、ビンゴゲーム大会に参加できます。

4　階

福祉推進校、児童施設・団体活動紹介展

おもちゃ図書館コーナー
おもちゃで楽しく遊びましょう。

ぬりえ受付
※幼児・児童対象

風船つり・輪投げ

ビンゴゲーム大会
（17日（土）　15:30）
（18日（日）　11:30・14:00）
※1人1回限り

クイズラリーにちょうせん!

会場内の10か所でクイズに答えてください。

☆参加者全員にジュースをおわたしします。
☆8問以上正解された幼児～高校生の方には次のいずれかの1つに参加できるお楽しみがあります。

ビンゴゲーム　風船つり　輪投げ

※都合により催し物の一部が変更になる場合があります。

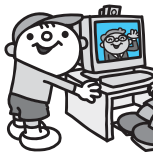
第21回 みん

福祉とボランテ

と　き　平成21年10月17日(土)　13:00～16:00
18日(日)　10:00～15:30

ところ　一宮スポーツ文化センター　(1F・2F・3F・4F)
一宮市真清田1−2−30(真清田神社西)

主な催し物



1　階

共同募金
啓発ポスター・書道展
●共同募金ポスター・書道入賞者表彰式
(17日(土)　14:00～)

ボランティアグループ
活動紹介展

模擬店
●カレーライス・おでん・ぜんざいなどの販売
(18日(日)　10:30～14:00)
●みたらし・ポップコーンなどの販売
(17日(土)　13:00～15:30)
(18日(日)　10:30～14:00)

福祉機器展
介助用品等の展示

ふれあい餅つき大会
(18日(日)　14:30～)

盲導犬PRコーナー
(18日(日)　10:00～12:30)

ボランティアグループ
活動発表会
(17日(土)　13:00～)
(18日(日)　10:30～)

2　階

福祉団体・福祉施設・行政
活動紹介展

ふれあいバザー
●障害者のみなさんが作った製品、ボランティアの方々が持ち寄った手芸品や不用品の即売会

ふれあいの輪をひろげよう!!

VOLUNTEER

ひと夏の思い出…

出会いふれあいボランティア体験!!

この夏、市内の中学生・高校生180名が29ヶ所の福祉施設での「ボランティア福祉体験学習事業」に参加しました。連日の猛暑の中、汗びっしょりになっての作業の手伝いや、お年寄りや障害者とのふれあいを通じて、新たな発見、感動が生まれました。

毛糸の包装（いずみ作業所）

自動車部品の点検（樫の木作業所）

衣類のカット（かすみ草）

お話し相手（コムネックスみづほ）

洗濯（朝日荘）

体験歩行（盲導犬訓練センター）

催しものご案内

『かしの木 フェスティバル』

～つなごう　てとて
ひろげよう　みんなのわ～

と　き：11月1日（日）午前10時～午後2時
ところ：冨田山ひろば（尾西グリーンプラザ北）
主　催：樫の木福祉会、かしの木の会
内　容：・ボランティア活動展示
・各種団体等のステージ
・模擬店コーナー
（おにぎり、豚汁、ジュースなど）
・手芸品・近隣社会福祉施設バザー
・フリーマーケット
問合せ：樫の木福祉会　樫の木園　大川
TEL62-8202

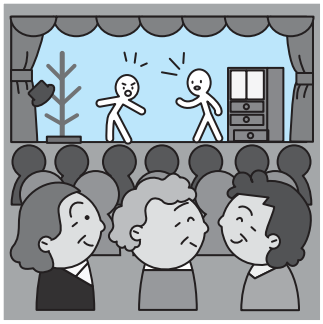
「きそがわボランティア フェスティバル2009」

～コムネックス
みづほ文化祭と同時開催～

と　き：11月3日（祝）午前10時～午後2時
ところ：一宮市高齢者生きがいセンター
（一宮市木曽川町黒田字西沼５１）
主　催：一宮市木曽川ボランティア連絡協議会
（16団体）
内　容：ボランティアグループの活動体験や高齢者擬似体験、ミニ公演開催（和太鼓・オカリナ・マジック・大正琴）手作り品福祉バザー、介護用品展示コーナー、ぷち喫茶、すいとんコーナー、カレーコーナー、バルーンアート、お手玉づくり体験、みたらし等先着入場者150人に粗品進呈（ちらしに掲載の粗品引換券が必要）など

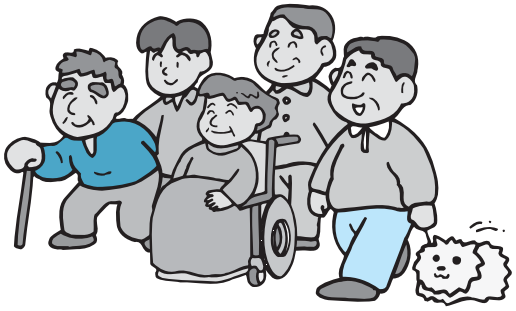
「福祉のつどい」

と　き：11月8日（日）午前10時～午後2時
ところ：尾西商工会館、駐車場
一宮市小信中島字川南36
主　催：一宮市尾西ボランティア連絡会
後　援：一宮市社会福祉協議会・中日新聞社　他
内　容：・ボランティア活動紹介コーナー
・福祉体験コーナー
・模擬店コーナー
（みたらし、ぜんざい、フランクフルトなど）
・ボランティアグループによる演芸



第20回「コスモス祭り」

と　き：11月22日（日）午前10時～午後2時30分
ところ：彦田公園（花池4丁目）
主　催：社会福祉法人　コスモス福祉会
第20回　コスモス祭り実行委員会
内　容：・授産施設製品の販売
・模擬店
・リサイクルバザー
・ステージ企画
・ゲーム企画　　など
※ボランティアも募集中です。
問合せ：コスモス福祉会　かすみ草　藤田
TEL81-3815



ケアマネジャーだより

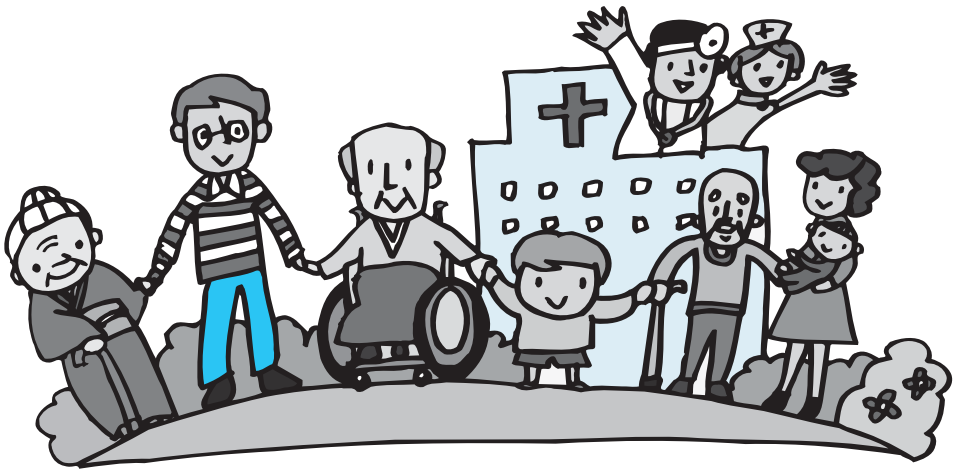
── 介護保険の支援サービス ──

介護保険制度は、公費と40歳以上のみなさんに納めていただく保険料を財源に運営されています。
では、どんな時に利用できるのでしょうか！
介護サービスを利用するためには、一宮市役所高年福祉課に申請して「介護や支援が必要である」と認定されることが必要です。

たとえば、
○病気で入院していたので、退院後の生活が不安に思う。
○今まで自分でできていたことが、体調を崩してできなくなってしまった。
○家族に介護が必要な人ができてしまった。
○身近に誰も相談する人がいなくて不安だ。　など

もし、「介護保険やサービスについて詳しく知りたい」と思われる時は、一宮市役所高年福祉課の窓口のほか、お近くの居宅介護支援事業所に出掛けていただくか、一度お問い合わせをください。

介護は生活の一部で「介護する人」「介護される人」がいます。
介護保険は、みんなで介護を支える制度です。
介護される人だけではなく、介護する家族も自分らしく生きることができるために利用できたらいいですね。
最近、テレビや新聞で「介護疲れ」などの理由により、痛ましい事件を耳にすることがあり悲しいことです。
誰でも安心して在宅での生活ができるように、一人ひとりが必要なサービスを組み合わせて利用できるように、介護保険を有効に活用しましょう。
サービスの中には一部、実際に利用する前に「お試し」や「見学」ができるサービスもありますので、ぜひ、身近なケアマネジャーさんにご相談してみてはいかがでしょうか？



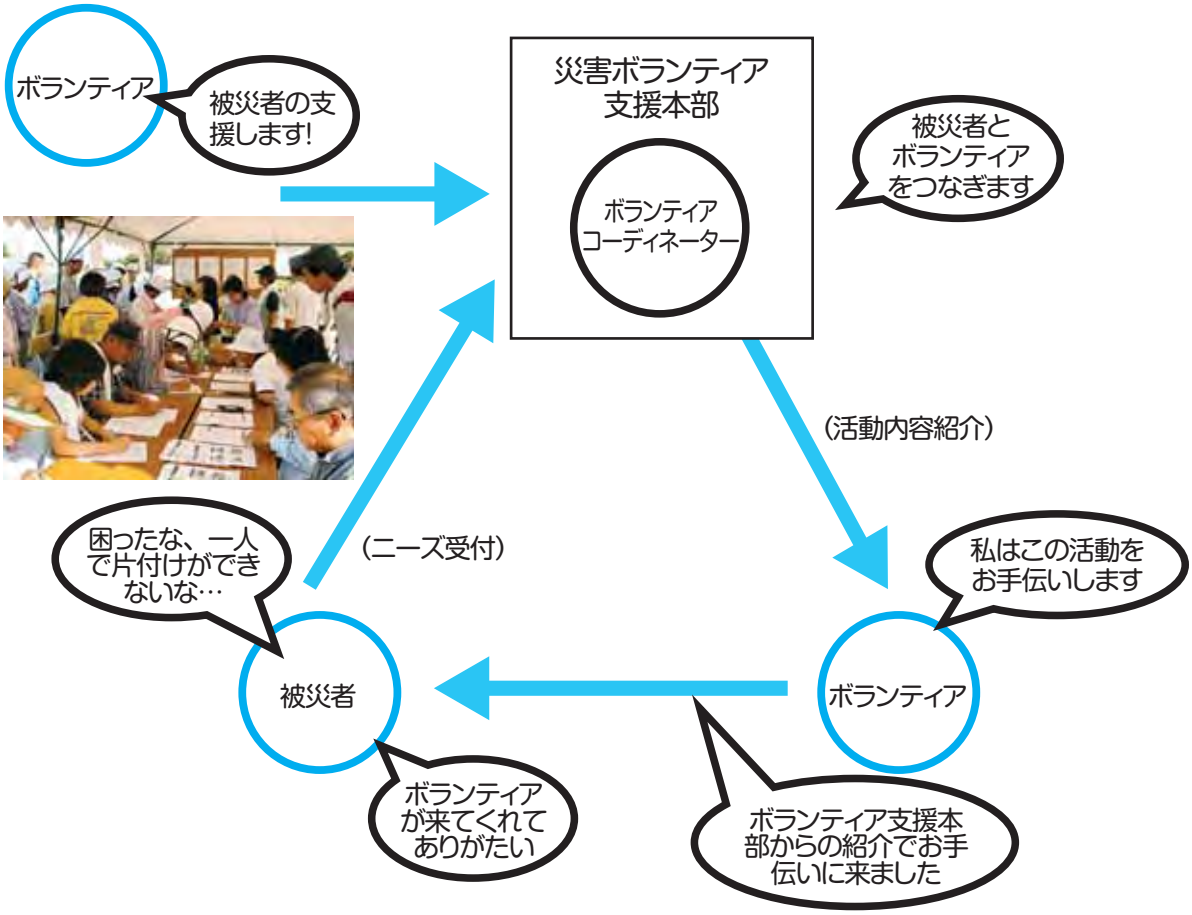
災害ボランティア支援本部は被災者を支援します！

平成20年８月28日深夜から29日の未明にかけて、愛知県内に記録的なゲリラ豪雨が襲来し、岡崎市などは河川の氾濫により家屋の倒壊、床上浸水などの災害が発生しました。

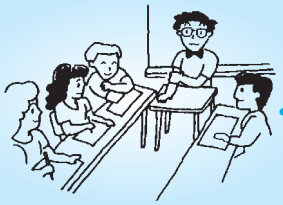
災害発生後、住民の暮らしの復興のため、「何か役に立ちたい」という思いのボランティアが駆けつけて、さまざまな支援活動が行われます。災害ボランティア支援本部は、助けを必要としている被災者のニーズを把握し、必要なボランティアを被災された世帯に派遣します。支援本部は市が設置し、防災ボランティアコーディネーターさんを中心にボランティアが運営にあたっていきます。

【一宮市災害ボランティア支援本部で行うことは？】

市内で大規模災害が発生すると、被災状況に応じて競輪場又は社会福祉協議会事務所内に災害ボランティア支援本部が開設されます。防災ボランティアコーディネーターさんの協力のもと、被災者のニーズを収集し、ボランティアさんが活動しやすいよう資機材の提供など側面から支援し、災害復興につなげていきます。



災害ボランティア支援本部は、被災者と復興を支援するボランティアとの架け橋になります。支援本部の役割の中でまず第一に必要なのは、被災者のニーズを的確に把握する事にあります。もし、皆さんが被災されてボランティアの支援が必要な時は、市内はもとより県内外から駆けつけたボランティアさんを派遣し、復旧のお手伝いをしますので、支援本部までぜひご連絡ください。なお、支援本部を開設しましたら、場所、連絡先などについては、社会福祉協議会のHPに掲載すると共に新聞などの報道機関を通じて市民の皆様に周知させていただきます。



編集ボランティアのページ

●担当編集ボランティア／森　勝己、築城基裕、岩下茂子、石井恵子、堀部　麗

～ボランティアとしての心構え 5箇条～

最近、わたくしが所属するボランティアグループから、一人の男性が去っていきました。それとなく、その理由を聞いたところ、彼は「前から思っていたが、リーダーが偉そうにものを言うのがいやだ」と興奮して話しました。不特定多数の人の集まりであるボランティアの世界にはあり勝ちなことの一つと思いました。そこで、いろいろ聞きおよんだ話や、わたくしなりのボランティア経験から、仲間とうまく付き合う心構えを考えてみました。

1．相手の立場に立つ…… 善意が押しつけにならないよう、お互いに理解し合うためのコミュニケーションを十分とり、わだかまりがないように気遣うこと

2．約束を必ず守る…… ボランティアは善意で行うもので強制ではありません。しかし、連絡もせず突然休んだり、投げ出したりしたら相互の信頼関係を失います

3．無理をしない…… 活動は長く継続して行うところに意義があり成果も生まれます。「出来る人が、出来る事を、出来る時間に」協力して行えれば理想的です

4．人間関係を大切に…… 謙虚な心で相手を思いやることに尽きます。個人の過去の栄光や自慢話は避けることが無難です。対等・平等で話し合える関係づくり

5．責任と継続性…… ボランティアをはじめることは自由ですが、相手がある活動は勝手にやめることは出来ません。自分の役割を認識し、継続が大切です

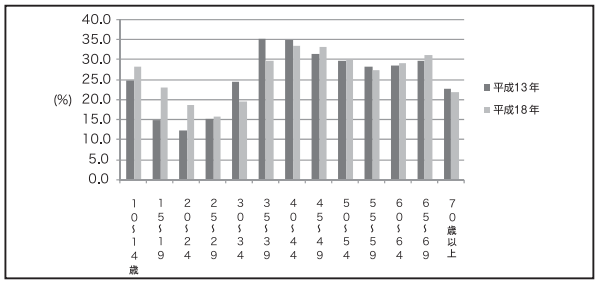
思いつくままに挙げてみましたが、実際の日常の活動の場では、まだまだたくさんの留意すべき点があります。ボランティアの世界は対等・平等が基本といわれますが、対外的にも、また活動のためにも上下関係は必要不可決であり、皆が認め合った結果の自然派生型が理想ではないかと思います。「自由」の中にも「規律」があることを心得ることが大切と思います。

統計から見るボランティア活動の実態

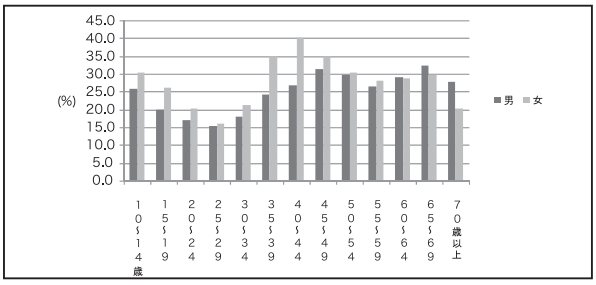
世間ではどれくらいの人々が活動されているのでしょうか？　今回は、ボランティア活動を行った人の性別・年令について調べてみました。（資料：総務省「平成13年、18年　社会生活基本調査」）

全国で1年間に何らかの「ボランティア活動」を行った人は、平成13年では3263万4千人で、男性は1485万6千人、女性は1777万8千人。平成18年では2972万2千人で、男性は1387万7千人、女性は1584万5千人となっており、ボランティア活動は一般化してきていますが5年前より291万2千人少なくなっています。

年齢階級別では40～44歳が最も高く、男女別では60歳以上の男性が高くなっています。



【年齢階級別「ボランティア活動」の行動率(H13年、18年)】



【男女・年齢階級別「ボランティア活動」の行動率(H18年)】

※行動率＝ボランティア活動人口の調査対象10歳以上人口に占める割合

こんにちはチャイブでーす

一宮市北丹町に旧老人福祉施設和楽荘の跡地を利用して、樫の木福祉会が新しい福祉サービスを始めました。施設の名称は一般からの公募で「療育サポートプラザ・**チャイブ**」。**チャイブ**とは「家族の幸せ」という花言葉のあるハーブの一種で、ハンディキャップのある人たちとその家族がいつも幸せでいられるようにとの願いをこめ、この植物の名前を施設の名称にしました。

チャイブには、ハンディキャップのある人たちが働くお店、「**おやまのカフェ**」「**雑貨・駄菓子屋こまこま**」があり、**またその施設全体の維持管理も障がいのある人たちが自分たちで行っています。**

「おやまのカフェ」ではコーヒー・日替わりランチや手作りカレーライスが人気を集めています。

「こまこま」では子どもからお年寄りまで楽しめる手作り雑貨や駄菓子を販売しており、また一ヶ月500円で借りることのできるワンコインレンタルボックスコーナーでは、木工品やアクセサリー、おもちゃなど、何でも自由に販売できるコンセプトが好評です。初めての人、ひやかしの方大歓迎です。一度のぞきに来て下さい。

詳しくは下記までお問い合せ下さい。
TEL28-8288

「介護と暮らし」　実録体験レポート1　～介護認定の申請～

突然ですが、皆さん、介護生活の経験はありますか？
介護する側ですか。それともされる側ですか。

今回は、私自身の話で恐縮ですが、最近の実体験をもとに、介護をする側の立場から、まずは要介護申請手続きの実際を日記風にレポートしたいと思います。

先日私の父（73歳）が自宅で倒れ、救急車で運ばれ、入院となりました。詳細原因は不明ですが全体として体力の衰弱の上、脱水症状を起こし、体中の痙攣と共に軽い狭心症状態であったと推測されています。その転倒の際に右肩鎖骨を骨折し、肋骨にもひびが入っているということでした。また、やはり数年前からの認知症の傾向もありCT検査によると脳も萎縮しているとのことでした。その後今日現在に至るまで約２週間、体力の方は少しずつ回復し、何とか自力で？トイレに行けるレベルまできています。数日後に退院の予定です。そこで問題はその後の生活です。父は一人暮らしをしていましたが、当面（永遠？）わが家に迎え入れる選択をしました。同時に市内近くにある「地域包括支援センター」に相談し、少しでも負担が減ればとの思いで早速「要介護申請手続き」をお願いしました。実は数年前に祖父母が亡くなった際に私自身、少し介護の勉強（介護福祉士）をした覚えもあり、このような時にはどこに相談したりすればよいか？といったことを知っていたことも役に立ちました。思ったより早く申請から１週間後に市役所の担当者１名が病院を訪れ、私と妻も同席のもと、いろいろと質問を受けました。現在の体の状態、頭（認知症）の状態、生活の詳細等々、をお話し、メモされていました。また別に病院の看護師さん等にも少し取材している様子でした。はたして父に「要介護」の認定がなされるのか？この４月から介護認定の基準も変わり、全体的に厳しくなったとのことです。根拠はありませんが、父は何とか歩けるので私の推測では「要支援」位ではないかと思っています。あとは頭の認知症状をどこまで考慮されるのでしょうか？その辺は病院のソーシャルワーカーの方に聞いてもなかなか明確な判断基準がわからないとのことでした。果たしてこの結果は？次回のレポートにつづきます。

社会福祉協議会の事業から

福祉への願いを短冊にたくし
七夕飾りを市役所尾西庁舎に設置

大徳支会ひとりぐらし老人ふれあい食事会
食事のひととき

障害者とボランティアのふれあいバスツアー
高山市内散策

起小学校での福祉実践教室のひとコマ

社会福祉法人　一宮市社会福祉協議会

本　部

〒491-0847　一宮市大和町宮地花池字中道9番地16
TEL〈0586〉24−2940（代表）　FAX〈0586〉72−5022
ホームページ　http://www.138sk.org

尾西支部

〒494-8601　一宮市東五城字備前12番地
（一宮市役所尾西庁舎東館4Ｆ）
TEL〈0586〉63−4800
FAX〈0586〉61−2970

木曽川支部

〒493-0001　一宮市木曽川町黒田字西沼51番地
（一宮市高齢者生きがいセンター内）
TEL〈0586〉87−2000
FAX〈0586〉86−0309

本紙は目の不自由な方のためにテープに録音し貸出しており、点字版広報も配布しております。ご希望の方は本部まで